

ホームページ公表文書

2016/12/7

研究課題名: 関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患に関する研究

実施期間: 西暦2016年12月7日～2023年3月31日

研究内容: 日本人関節リウマチ患者様におけるリンパ増殖性疾患の頻度、特徴、治療、その後の経過について調査する

対象: 2011年4月～2011年7月の4か月間に当院を受診された成人の関節リウマチと診断された方

意義、目的:

疫学研究より関節リウマチは悪性リンパ腫の合併頻度が一般人口よりも高く、リスクが高いと報告されています。関節リウマチの主要な治療薬であるメトトレキサートは、症状の改善、関節破壊進行抑制、生活の質の向上や心血管合併症リスク軽減が示されており、治療に不可欠な薬剤です。1990年前後からメトトレキサートの使用中に発現するリンパ増殖性疾患が報告され、メトトレキサートの使用の有無に関わらず、一般人口よりも頻度が高いことから、関節リウマチ患者におけるリンパ増殖性疾患の現状を把握し、その対策を講じるため、日本リウマチ学会が中心となり他施設共同研究を行います。

方法

各症例において、観察開始日(2011年4月1日から2011年7月31日の4か月間の最初の受診時)から3年間を観察期間とする観察研究です。3年後までに通院中止した症例については、最終来院日までを観察します。3年間の観察期間中にリンパ腫を発現した症例は、発現時から5年間観察します。

責任医師: 藤枝市立総合病院 リウマチ科科長 金本 素子
相談窓口: 治験管理室 054-646-1111(内線5063)